

# 認知症にやさしい コミュニティ

講演

手話通訳あり

## Dementia-Friendly Community

1

13:30  
14:00



### 「認知症とともに自分らしく生きる～今決めておくことと助け合っていくこと～」

東京都健康長寿医療センター  
認知症疾患医療センター精神保健福祉士

島山 啓

認知症の進行にあわせて、介護する家族の役割も変わっていきます。ご本人の意思を尊重して生活を送るためには、少し先のことを話し合っていくことが大切です。地域の相談窓口や医療機関の機能などを紹介しながら、認知症とともにご本人らしく生きていくことについてお話しいたします。

2

14:00  
14:30



### 「認知症の人の想いを探る～身近な人が認知症になったときに慌てないために～」

東京都健康長寿医療センター研究所  
福祉と生活ケア研究チーム研究員

伊東 美緒

身近な人が認知症になったとき、その事実を受け入れることができずに自然にとってしまう態度や行動が、認知症の人を追い詰めて症状が悪化することがあります。認知症の人の置かれた状況を考えて、かかわり方のヒントを探しましょう。

3

14:45  
15:15



### 「認知症の人と家族が暮らす街をつくる」

東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と介護予防研究チーム研究部長

栗田 圭一

認知症とともに生きる人の思いに耳を傾け、信頼し、尊重し、助け合うことができる街。認知症の有無に関わらず、希望と尊厳をもって生きていくことができる社会をつくらうという理念が共有されている街。そんな街づくりの話をしたいと思います。

会場

文京シビックホール 大ホール

東京都文京区春日1-16-21

質疑応答

15:30▶16:00 司会 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 新開 省二



東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅 5番出口直結  
都営地下鉄大江戸線・三田線 春日駅  
文京シビックセンター連絡通路直結  
JR中央・総武線 水道橋駅 徒歩10分

主催

地方独立行政法人  
東京都健康長寿医療センター

共催

文京区

平成28年

1月19日

午後1時15分～午後4時15分



地方独立行政法人  
東京都健康長寿医療センター  
広報普及係

03-3964-3241 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmhig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。

申込不要  
入場無料  
当日先着  
1,800名

# 認知症にやさしい コミュニティ

## Dementia-Friendly Community

まさか両親が認知症になるとは思いませんでした。父の様子がおかしいと母から電話があり、専門医受診を勧めましたが、父は当初は拒否して応じませんでした。診断確定後は投薬治療がうまくいき、2年ほど落ちついた時期を過ごしました。しかし、その後急速に身体機能が低下し、昨年亡くなりました。母は父に遅れること1年後に認知症と診断されましたが、郷里のグループホームで現在も穏やかに暮らしています。振り返ると、初期診断が遅れたこと、近隣との関係がうまく築けなかったこと、施設入所を一方的に決めたことなど悔いが残っています。認知症は、今日では高齢期のありふれた病気の一つです。認知症を患ってもできる限り住み慣れた地域で長く暮らしていける、そのような社会を早急につくることが求められています。今回の公開講座では、認知症との共生について考えたいと思います。

東京都健康長寿医療センター研究所 副所長

新開 省二

地方独立行政法人  
東京都健康長寿医療センター  
広報普及係

03-3964-3241 (内線1240)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>